

勝負おにぎり

郷ノ浦中学校二年

豊本

乃月

中間テスト当日の朝

「大きすぎたかな。でも、これ食べてエネルギー

ギリチャリジリと母が言った。そして、私に

温かくて大きなおにぎりを渡した。私はその

大きなおにぎりを見て、母の愛情の大きさを

感じながら、一口おにぎりを口の中に入れた。

私は、お米が大好きだ。だが、以前の私は

お米よりパニの方が断然好きだった。なぜな

ら、パニには色んな味や、食感、香りがあ

からだ。パニ屋さんに入ったときの香ばしい

香りときたら、たまらない。だから、私はパ

ニが好きだった。それに比べてお米は、味も

食感も香りも同じで、飽きてしまう。別に私

はからあげがあってもお米は進まない。変っ

て思う人もいるかもしれない。それで良いと

思っていた。

お米が苦手なことを母は知っていたはずな

のに、習い事が重なって、夕食を家で食べら

そんなお米が危機を迎えてい
ることを知っ
た。それは、国内でのお米の生産者が年々減
少していき、その理由として、一
つは後継者がいないこと、
消費量が減り、お米が売れないこと、
挙げられる。その中で私は、二つ目に着目し
た。なぜ、主食がお米の日本がお米を食
いのだらうか。たぶんそれは、パニヤ麺などが
手軽に食べられることと私のように若い世代
がお米よりパニヤと思考が変わっていき、関
心を持たなくなっただけでなく、たか
らではないだろうか。何か自分で
できることがないだろうか。考
えて、今からでも取り組める二つ
の二つを考えた。え、た。ま。お。一。つ。目。は。ご。飯。の。残。さ。お。食。べ。る。こ
と。だ。二。つ。目。は。お。米。を。も。つ。と。食。べ。る。こ。と。だ。上。地。元。の。食。材。な。の。で。安。心。し。て。食。べ。る。こ。と。も。で。き。る。お。米。を。好。き。に。な。っ。て。か。ら。進。ん。で。お。米。を。研。ぐ。よ。う。に。な。っ。た。お。米。の。と。ぎ。汁。は。肌。が

ため、テストなどで力を発揮するところができ
きる。もっと日本人には主食であるお米の二
とを幅広く知ってほしい。私も、お米で
こんなにおいしいんだよ。って伝えていき
たい。
二学期の実力テスト、今朝の勝負めしも母
の大きなおにぎり。今日もこれを食べてエネ
ルギーチャージ。

最強のファストフードだ。エネルギーが出る
のはないかもしれないが、日本人の身体にはあ
菜と組み合わせるとさらに食が進む。手軽で
しくなっている。タニク質を摂るための副
だ。私は今、お米の食べ方を工夫するのが楽
も洋もある。いろいろな国のおかおに合うの
とに気づいた。アレニジができる。和も中華
ると、お米にはいろいろところかたくさんあるこ
きれいになると言われている。よく考えてみ